滿州日報

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社　（電話二十九番）
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang. Telephone No. 29.

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日者每行一角五分零月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

横濱正金銀行牛莊支店
電話百十八番　支配人室　事務室

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
立神丸　十一日出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二十六番）

瀛船出帆廣告
土洋丸　十日出帆　門司行
鷲取丸　十日　門司、神戸行
穎朝丸　十三日　門司、神戸行
金龍丸、大龍丸、國見丸　臨時芝罘定期
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
滿洲一手販賣元　廉價販賣仕候
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告

代理店
潮洲丸　十一日入港乘客謝絶
南越丸　九日入港
ブツレユ兄弟商會　東營口公園地横
遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待洋牌可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人　田中糧之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼設有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幣火輪船生意兼賣各制洋什貨種石等此佈　營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸　丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染决不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）　西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒科）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　穎朝丸　專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全兼有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十一番）

矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種樽詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街　電話百三十七號　本行主人啓

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元。分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

飯塚工程局　材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子眞價實以應各主顧之需　局主人啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨均交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃　營口南永世街北斗洋行
西櫃　營口西北街警□胡同內

上海　中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張印本機器連史紙訂五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

發賣
料木、杆子　一丈　一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切御賣
日本酒春駒一手販賣
捌荷洋行
口ノ神廟街
（電話一四七番）

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委託販賣
幣公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇　英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮歲

丸重洋行
貨物運輸
啓者本行前在營口躉賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話　營口四拾八番　牛家屯四拾六番

東三省電報總局廣告
逕啓者頃接上海電稱各省將軍都統督撫院提鎭藩臬運道臺各關局處均鑒美屬舊金山地震成災僑寓各國商工民人驟遭慘厄美廷迅救援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰蒙聖慈沛發肆萬兩飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粵商湊集洋伍千元購美金電匯一面仍借各紳商多方設法藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅謹此電聞倘蒙尊處本擬籌撥款項請速滙美京梁使收撥或將款匯滬交商會彙取收條爲憑代買美金轉滙總祈迅速善濟要爲呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京炳榛沈敦和任錫汾周晉鑣曾鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈商惠鑒如有軫念同胞慨籌急賑者請速將款逕匯美京或上海商會否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民不勝企禱謹啓　各貴官

東京電報

●外相と露公使の會見

本日露國公使は外務省に出頭して牧野外相代理及び珍田次官と長時間密議せり此會見は名分漁業權問題に關する交渉なるへしと傳ふ

(五月八日午後六時廿五分發)

倫敦電報

●米國戰艦の擱岸 米國戰闘艦ロードアイランドチエキピーク灣に於て擱岸せり曳船を以て之を浮き揚けんと試みしも成功せす

●參週間の米國送金高 去る三週間にキユナルド會社滊船に因て米國へのみ送りたる金四、〇〇〇、〇〇〇ドルに近し

●保險會社の支拂金 米國滊船セントポールに因りて三六七、〇〇〇ドルヲ米國に送れり是れ重に桑港に於ける英國保險會社の支拂をなすためなり

●米貨排斥と米人

清國に於ける米國商品排斥運動の勢益〻盛なるが爲めに將來を憂ふる米國人多し

●英國軍艦の到着 英國戰闘艦四艘巡洋艦四艘水雷驅逐艇四ピラニスに到着せり

●英佛外交家の會見

エドワード皇帝に隨行せしヘーヂンヂ卿は巴里に皇帝の滯在するを機とし當時の國際問題に付てフランス外務大臣と數回會見をなせりフランス新聞紙は曰く此二外交家の意見符合するために英佛接近の關係益〻密なりと

雜報

●露國の哈爾賓經營(依然として膨脹的也)

日露戰役の大敗により其野望を挫きたる露國か今後に於ける哈爾賓經營の或は縮少的なるへきや或は依然膨脹的なるへきやは是れ吾人の知らんを欲して而して未た其實情を得さりし所然るに頃者哈爾賓より歸來せる清人の言に依れは露國の哈爾賓經營は依然膨脹的にして即ち目下哈爾賓にて計畫されつゝある三大工事とも稱すへきは一は水道工事にして其費額八十五萬ルーブルと稱し今年秋季迄には竣工せしむる豫定なり二は電氣鐵道の設計にして新舊市街及びプリースタニ區を連結し尚各區の主要なる街路をも聯絡せしむる筈にて其規摸頗る宏大なり三は即ち新市街より支那人村落たる傳家店に通する大道路開鑿にして此議は嘗て戰役以前一たび露國當局者の間に試みられたる設計なりしか今回愈〻着手に決定せるものと見えたり想ふに水道工事といひ電氣鐵道といひ道路開鑿といひ是れ皆近き將來に於ける哈爾賓の發達を想像するに足るへき大經營なるのみならす道路開鑿の如きは其竣工の曉は更に哈爾賓の規摸を擴張し二個の露國市街(新舊兩街)と一個の露清混市街(プリースタニ區)と一個の支那市街(傳家屯)とを包含する大市街を形成するに至るへし云々

●奉天通信

五月五日 特別通信員報

▲將軍と行部大臣 此次趙將軍か奉天官制の大擴張大改正を試みんとする意ありし事は前便所報の如し其形式的官制の大擴張大改正案は已に上奏したる由なるか未た政務處の議に下されすとなり而し其大体案として聞く所によれは將軍自ら奉天將軍並に總督なる名稱を改めて行部大臣と改稱し張錫鑾及び湖北按察史張鎬齡を左右參贊となし樞密局並に各行政部十局(始め十三局を置く筈なりし)を置く計畫にして儀章大に見るへきものありと云ふも余輩をして論せしむれは誠に一笑に値いす我國にては卿相を以て大臣と稱するも清國にては大臣の稱餘り重からす各國公使は則ち欽差大臣にあらすや庫倫の僻地亦た辨事大臣あるにあらすや今夫れ趙留守の將軍並に總督の名を改めて行部大臣と爲す虛儀虛名の末に齷齪たる寧ろ噴飯に値ひせすや

▲交渉局と政務廳 奉天開放と共に交渉局を改めて商埠局となすの議ありとは前便已に傳へし所なり然るに何事にも形式の大袈裟を望むの趙將軍は則ち交渉局を改めて政務廳と稱し大に其規模を擴張するとの事にて已に北京外務部を經て上奏したりと云ふ交渉局か商埠局か政務廳か折角の事に外務省としては如何

▲武官警官學生の服裝 上好む所下之を習ふの言實に我を欺かす趙將軍が形式的の美を好むより省城官場に於ける武官並に警察官の服裝日に金モール銀モールの燕服を裝ふて絢爛目を驚かすもの雨後の筍の如し降つて學生等の服裝亦た甚た音樂隊の服裝に酷似せるものを生するに至れり爲めに御庇蔭を蒙るものは本邦雜貨店にして帽子洋服鞭並に金銀モール軍刀劒の類なりと頭腦の養成よりも衣服の華美帽子の燦爛を尊はんとす勸告す卿等よ速かに日本に遊へ廣目屋樂隊薬屋樂隊電車の車掌(警官の帽章類似す)乃至西洋手品師卿等の同僚として美〻しき服裝せるもの多し腕を互して大に談るに足らむか然れとも記せよ治國安民の業は手品師の手品の如く甘くは行かさるへく樂隊の馬鹿囃しでは功ならさるへきか

●總督府の移轉概况

五月六日 綠城生

久しく一般の口評となりたる關東總督府の移轉は愈〻事實となり豫定の如く本日を以て旅順へ移轉せらるゝ事となりぬ今遼陽停車場に於ける出發の概况を摘記せん

▲見送人山の如し 移轉出發時刻は午後零時二十九分發二列車と定まり居れるより日清人の官民は見送りの爲め今や遲しと停車場に詰掛けたれはさしも廣き同構内は見送人を以て充され人頭の山を築きぬ

▲美形の見送り 此より曩き日本人會は檄を飛ばして邦人は男女とも普く見送るべき旨勸誘に努めしかば數多の美形連は華麗なる服裝を盡して見送りに參加し衆目を引きたるは半ば廣告的に出たるなるべし

▲幹部員の乘車 軈て時刻は迫まり木下、西川磯村の三參謀を始め幹部員は乘車せられぬ見送人は何れも顏を擡けて列車に對し發車を待つ間もなく一聲の滊笛は空を破ぶりて響けり

▲清兵の捧銃 滊車は徐行を始めたり多くの見送人は帽を脱き車上の人と默禮を交へつゝありし一瞬間喇喨たる清兵の喇叭は突如として吹奏されぬ、此と同時に整然と一列をなせる清兵は最も靜粛に捧銃の最敬禮を以て此の行を見送りし態は見物人の等しく一種の快感に打たれたる所なるべし

▲總督府員の一行 は此の列車にて人員百五十名、貨物千梱馬匹二十五頭なるが此より曩き午前六時發列車にて人員二十名貨物三千五百梱馬匹二十四頭は先發し且つ五日午後零時二十九分發列車にても人員二十二名貨物二千三百梱は旅順に先發したるなり

●千金寨火災の損害

四月三十日午前八時千金寨炭坑事務所前なる木工場より出火し同工場に堆積せる木材其他分捕り貨車等燒失したるか其損害高は目下調査中なるも聞く所によれは尠くとも十万圓の損害は免れさるへしと云ふ

●遼河輸送業者の取扱船

共同事務所設置問題にて行惱みつゝある遼河輸送組合員中には喧嘩は理事等に一任し對岸の火災視して倍々業務の擴張を計れる結果去る四月五日より同廿日迄取扱たる船數は荷物搭載船九百卅四隻空船三百六隻計千二百四十隻に達したりと云ふ

●在留父兄の注意

本紙廣告欄にもある如く營口瀛華實學院に於ては愈々來る十四日より在留邦人子弟の爲め尋常小學部の授業を開始せらるゝ由なれば萬一願書の手續をなさゞる向は此際急に其手續をなすべしとなり

●落合參謀長

昨九日來營せらるゝ筈なりし落合參謀長は豫定の日時より一日延引し本夕着せらるゝと云ふ今其延引の次第の消息を聞くに昌圖の用務を終へたる後新民府に廻られたる由にて夫れが爲め一日延引し該地より關外鐵道にて午後五時河北停車場に着せらる筈なりと

●高市副官の病氣後送 遼陽軍政署高市副官は豫て病氣入院治療の所其の後經過不良にして捗々からさるより此程内地へ後送になりたりといふ

●遼河委員の出頭 遼河輸送組合理事神野良、宮井治一、田中長次郎等の諸氏は昨日軍政署に出頭を命ぜられ與倉軍政官より種々の訓示を受け輸送貨物取扱に關する質問等ありて結局尚充分熟考の上許否を決すべく話されたりと云ふ

●新渡戸博士談片

滿洲は何うしても農業國であらねばならぬ地味は左程膏腴といふ程に行か無くとも米國に耕作せらるべき穀物は何んでも適當するであらう▲農業の改良と相つても差當り方法が無い高粱の代りに漸次高價の穀類でも植ゑる事にしたら好いであらう▲小麥は無論適する滿洲の小麥は米國と同じく麵包に燒くに極適當して居る日本の小麥は粘着力が多くて麵類を作るには好いが麵包には不適當である▲大麥なども是非作るとにしなければならぬ近來ビールの原料のみでも其需要は非常に多いやうである▲砂糖蕪なども能く植付くやうに聞いて居るが此邊のやうに鹽分の多い所は精製上手數が掛るからそれは尚考究問題であらう▲何んでも現在の滿洲は殆ど自家の生産品を自家で消費して了ふとに爲つて居るからそれを奬勵して自家の消費以外に輸出農産物の耕作に從事するとにしなければならぬ輸出品が殖ねれば人民も富み從つて滿洲も富む▲農政上の改良など大袈裟な事を言つても到底駄目だ百姓の事は矢張百姓式にやるに限るから無暗に大きな機關を拵へて見ても決して効能が無いのみならず却て其發達を阻害するとに爲る▲佛蘭西などは堂々と大きな役所を拵へて役人が百姓のお世話をするとに爲つて居るが農業は些つとも發達して居らぬ之に反して英國のやり方は極めて實際的である埃及の如きは元は滿洲と同じく高粱許り生えて居た處だが英國が一たび手を着けてから人の知らぬ間に今は穀類輸出國として非常に立派なものに爲つてゐる▲東北の凶作なども實は日本政府で餘りお世話が燒き過ぎたからだといふ說もある物識の技師などが無暗に新說を稱へて南方に適當するものを東北へ移植したやうな事を遣つた爲めに今回のやうな不幸を見る事に爲つたのだ▲滿洲の農業も矢張り世話を燒き過ぎぬがよい是れから鐵道でも段々開け道路も修築せらるゝとに爲れば自ら穀類の運搬にも便利と爲つて農業は手を下さずして自然に發達するとに爲るであらう

●四平街歸客談

最近四平街昌圖方面より歸來せる旅客談に據れば▲昌圖貨物の堆積 昌圖は目下鐵道の最終點なれば北滿洲行貨物は悉く同地に堆積し昌圖の繁昌は殆ど其極点に達す其種類は全く土人向貨物にして露人向の物殆ど之れ無し▲昌圖四平街間運賃 昌圖四平街間運賃は一件(百廿斤)馬車賃一圓六十錢にして普通一日間を要すといふ▲四平街哈爾賓間運賃 四平街より哈爾賓に至る運賃は平時即ち戰爭前迄は一布度(我四貫三百六十目)八九十錢のもの今は一圓六七十錢と爲る▲四平街の發車回數 四平街より公主嶺に向ふ滊車は一日一回の發車にして公主嶺以北は日に三回なり露國の一貫車の積量は二萬二千五百斤なり▲露人を嫌惡す 西沙河子以北の滿洲土人は露人の暴虐を厭ひて皆之を嫌忌せざる莫く日本人を見て大に歡待の色あり▲日本軍票の歡迎 四平街にて最も驚くべき現象は日本軍票の盛んに歡迎せられ到る處流通を見ると是れなり是れ同地方の近き將來に於て日本の勢力範圍下に歸すべきを見越しての故なるべしと雖も亦以て一奇とするに足らん▲四平街の日本品 四平街以北に於て日本商品の存在するは朝日リーリー等の卷煙草朝日ビール罐詰類にして朝日は四平街にて十錢に賣らる罐詰は軍隊の拂下品及び酒保品の賣れ殘りの北送せられたるものにして主として魚類を多しと爲す

●滿洲昌圖公司(下)

▲注意 先是總督府は其の設立を認可するに當り注意して曰く一時に兩會社の事業を開始して萬一失敗する如き事ありては將來に於ける日清人の合同をして困難を覺へしむる無きを保せす若かす先づ其の小なる昌圖株式會社の事業より開始し其成績を觀、漸を以て通商公司の開業に着手せんには即ち共に認可を得るや其の注意に從ふて先づ昌圖株式會社の方面より事業を開始せり蓋し今日の昌圖公司也

▲株主 昌圖株式會社の株主は總体に於て百四十人あり主に支那人なりとす更に其の株數は三千株にして一株は百圓なり愈々營業を開始するに先ち第一期の拂込を終り七万五千圓を得、以て營業資金に供す

▲重役 重役は日本人二名支那人二名合計四名にて日本人松本龜太郎清國人馬釣良の二氏取締役に日本人柏原文太郎清國人尙昌多の兩氏監査役の地位に在り而して會社の代表者は松本龜太郎氏なりと云ふ尙は馬釣良及尙昌多の兩名は一方に於て會社に對し株主中の支那人側を代表す

▲營業 昌圖公司の營業は最初は頗る單純なりしも其後に於て種々考案を加へたる結果、今日は甚た複雜となり居れり即ち定款第二條は其營業を說明せる者にして實 左の如し

當會社營業の目的は昌圖府及其他に於ける輕便鐵道の經營、東清鐵道に依る一般運輸事業貸家貸庫、及び通江子、金家屯、八面城、奉化四平街、公主陵、威遠堡、吉林等の滿洲各地樞要の都邑に到る馬車輸送業並に商品賣買代辨業等とす

前項の輸送營業に付き貨物の安全幷に荷主金融の便宜を計る爲め輸送保險業、荷爲替業を營み且つ取引先の依賴に依り爲替及預金事業を營むとあるべし

多期間に於ける遼河氷上橇輸送、及開河期に於ける河船輸送の營業を爲す

以て見る可し

▲支店 今日迄に於ける支店の所在地は昌圖停車場、四平街、寬城子、通江口等にして何れも主に保險業、併に馬車輸送業に從事し所としては爲替事務も開始せり尙は營口にも最近に於て支店を開設したり更に將來に於て支店を開設すべき個所は大連、遼陽、奉天、鐵嶺等にして是等支店に於ては主として滊車輸送に從事すと

▲社員 現在の使用人は日本人二十余人支那人二十五六名、即ち双方に於て五十名内外なり而して日本人は主に帳簿の整理等に從事し支那人は主として現金の取扱に從事すと云ふ

▲以上 の沿革より觀察すれは昌圖公司は普通の順序を踏みて發生したる適法の會社にして其の營業事務も亦た普通を以て觀るべし唯た其社員に種々風變りの人物之れあるか爲に時に人目に奇異を覺へしむるは寧ろ會社の爲に惜むへきか雖然由來、滿洲は風變りの人物に恰好の場所なりとす今ま昌圖公司か種々風變りの人物を吸集し世間をして怪物會社を以て指目せしむる者は或は將卒の一大發展たるなきを保せす紛々たる非難、必すしも深く意とするに足らす要は我か利益線の擴張に在り昌圖公司たる者、夫れ緊揮一番なからさるを得んや唯た小策は大局に百害あるも寸益なし深く意とせさるへからす

投書かご

▲或所の商賣人を相手にしやゝるお役人さんは毎晩のやうに私共の近邊の家………無論御用商人らしい人の家へ酒を飲みに來やはるが李下に冠を正さず瓜田に靴を入れずといふ事もあるから御注意が肝要である(頑心病生)▲僕は先達或料理店の前を通つたら僕のやうに馬鹿な男がお多福連中十五六人と綱引をやつて居た見る中に其馬鹿男は女隊に家中迄引入れられ泡吹て居たそれから後はどう爲つたか知らぬが僕は其儘歸りました歸つてから馬鹿に弱い男もあるものぢやと思つて可笑さに堪へ無かつたが併しそれも其筈で彼のお多福連中は毎日お茶を引きつけて居るから引く事丈は男も叶はぬ强さであるげな(立見生)▲郵便局長さん近頃は父電報の配達が暇取りますソイ二三日前の事でしたよ午前十一時着の電報が午後の十一時にやつと配達されるなんて電報の配達に十二時間も掛るやうでは折角の電報も何の役にも立ちませぬ局長さん此際どうか配達人の監督を一層嚴重にすると同時に配達人員を增して快々的にやつて欲しいものである(希望生)

●馬賊李雲和の犯罪

昨紙記載の如く馬賊李雲和(二十三)は審理の末强盜罪を以て愈々**死刑**に處せられたるか今彼か犯罪の槪略を聞くに昨年十一月廿四日午後八時頃鐵嶺停車場を去る一清里即ち馬峯溝附近の道路に於て通行せる一清人に對し約七寸の短刀を差付け金を出さゝれは殺害すへき旨を以て脅迫し銀十七圓卅錢を强奪し又本年一月十六日午前四時强盜の目的を以て鐵嶺城より同停車場に通する路傍の樹陰に潜伏し通行人を待ち受けたるに恰も一淸人の來たれるを小躍して其前の手段を以て脅迫し銀十四圓を奪ひ取り尙二月十三日李同劉なる者と共謀し同日午前二時開原發列車に乘り込み**進行中**突然彼等兩惡漢は**拳銃**又は**一尺餘の日本刀を閃**めかし同車中の**清人八名を整列**せしめ**一々懷中を搜り殘**らす**金錢を奪取**り就中某淸人の如きは所持せる**露國紙幣六千五百余圓**を悉く强奪し列車の將に中谷停車場に着せんとして除行する際**上より飛降**り其儘逃走し各地を徘徊し仝月十廿頃海城に來り海城ホテルに至り同家の酌婦キクなる者と馴染み合ひ純金指環二個及び銀九十圓を與へ居續けの豪遊を極め居りたる所同地駐屯の憲兵に怪まれ引致の上取調中仝月廿二日午後三時頃**破獄逃走**し其後**營口**に來り**南永世街**に眞面目らしく**下宿業**を營み居りたるを岡本上等兵の探知する所となり嚴しく取調られたる結果前述の次第逐一自白したりと尙彼は其以前日露交戰中**露探**を働き居りたる由憎みても尙餘りある惡漢なりと云ふへし

火車
關內外鐵道
上り 營口發 前八、二〇 七、〇〇
下り 山海關發 前七、〇五 四、四五
東清鐵道
新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七
溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五七
諸鐵工製作所
梅毒 婦人科 專門 日本醫院
廣告取消
天氣豫報 營口地方 自九日午後六時至十日午後六時

新作小説　小説　おとし胤　（五十八）　德田秋聲

魔に誘はれたのか、慈愛の力に引付けられたのか。光は、ふら〳〵と室を出て、幾個かの空室を過ツて、廊下へ出た。廊下へ出ると、電燈は煌々と輝いてゐて眼映しい位。

自分の室を出たからと謂ツて、格別後護いことは無いのであるが、光は、何んとなく氣が引けて、四方を憚かツてゐた。もしや誰か來合はせぬかと、それが氣遣でならぬ。それで二歩三歩と進むで行くうちにも、猫が魚屋の飯臺でも襲ふやうに、きよろ〳〵其處らへ眼を配ツてゐた。何んだか氣がわく〳〵する。こんな場合には、誰にしても得て失錯を行ツてならぬものだ。

幸、其處らには、誰もゐなかツた。そこで、づん〳〵進むだ。そして西洋館の園の中へ入ツてくの字形になツてゐる楷子段を登りきツて了ツた。その時分には、何うしたのか、客間の騷は鎭まツで、ひツそりしてゐる。多分引續いて密談をしてゐるのであらう。

光は、何んだか拍子抜がした。幾ら樣子が見たいと謂ツて、有繫に無作法に中へは入られない。また入ることは出來ない。さればと謂ツて何か氣懸になツて、後へも引返す氣になれない。で、電燈の光で、廊下に映ツてゐる自分の影を瞶めながら、街頭に落し物でも探してゐる人のやうに、うろ〳〵としてゐた。固より足音は立てない。

楷子段のところまで來て、その所在が無いので、欄干に凭りかゝツて、今更珍らしさうに電燈の光を見上げながら、まじ〳〵としてゐた。それでも爲方が無いので、思切ツて、楷子段を下りかゝらうとすると、

「卑劣なことを有仰るな、それだから、私は、貴方等と、もう協議する餘地が無いと謂ツてゐるのです。」

高い、疳走ツた鋭い聲である。光は、直に父子爵の聲と知ツた。光は、大急で、客間の方へ取ツ返した。

誰やら、何かいふと、また父子爵の聲として、

「よろしい、よろしい、奈何にも、私は、貴方等に負債がある………起訴されたら、家資分散だ、華族の禮遇は停止される、なるほど、それに相違ない。それが、貴方の私を屈服させる武器なのですな。よろしい、止むを得ません、私は、今、負債を償却することが出來ない。よろしい、私は、貴方等の武器に屈服して、潔く華族の禮遇を停止されませう。」

而ると、今度は、お祖母樣の聲で、

「其方は、ま、氣が狂ふたのか。そんな事をして御先祖に申譯がありますか。清光院殿の御位牌に對しても………」と泣聲になツて「のう、よう、氣を落着けて、皆樣の謂はれるところを聞いたが可い。皆樣も沒義道に海鹿の家を辱めやうとなさるのでは無い。皆樣の思召にさへ從ふたら、立派に家政を整理して遣はさうと有仰らせるのでは無いか。家の爲を思ふが可い、のう、家の爲を！………那のやうな田舍女を回護ふて、家門の恥辱を思はぬといふのは餘りと謂はゞ餘りの沙汰では無いかの。これ、海鹿の家といふはの。泰山公以來十二代連綿として些も家名の汚されたことの無い家ぢやで。」

「能く存じて居ります。はゝゝ」と父子爵は、空笑して「何も御心配なさることはありません。私には、私の考がありますから、兎に角一と先づ債權者の所置に委せたが可いのです。成程謂はゞ祖先に對し申譯の無いやうな次第ですが、子の愛を割くことは出來ません。斷然出來ません。華族でも、また平民になツても、海鹿の家は、海鹿の家です、系統に何等の故障も無いですよ。私は、思はぬ家庭を作ツて、虛榮に誇ツてゐるよりも、寧ろ市井の人となツて、思ツた通りの家を作ります。妻も離縁致しませう、妻は平民の娘になツて居られぬ人でせうから、櫻島さん、御迷惑ながら何うかお引取を願ひます。此の海鹿は、感ずるところがあツて、主義主張の爲に全てを擲ちます。肉親と雖、主張の爲には斷ツて憚りません。全ての情實を排斥します。もう詮議の餘地が無いですから、何うぞお引取下さい、不肖、諸君に毎度御配慮を煩はしたのは、深く感謝致します。」

言が斷れるか、斷れぬに、

「光さん、貴方、其處に何をして在ツしやるの。」

と聲を掛けた者がある。

光は、びツくりして振返ると、それは何時も恐ろしいと思ツてゐる義理の母なる子爵夫人。光は、悚として、蛇に睨められた蛙だ。

歌反古　梅の里人

君を想ふこゝろは今もかわらねど　われは老ひけりかみはうして
故里の花の便りを耳にして　こまいなゝきぬ外つ國のそら
月さゆる空を過ぎ行くかりのむれ　君は何處ぞ文托さむに
くちはてし矢じり拾らひて我立ては　草葉にむせぶむしねあわれに
なづかしき妹が手にせる絹しをり　歌集にはさみよきゆめや見む
長閑にも野邊の若草もえにけり　遠き空への君如何にして
海遠くしはし忘れし高砂の　しま思ふ身となれり君ありませは
をぼろにも月はかすめる花の下　ぬしは何處ぞむねつく一曲
風寒む袖打ち拂ふ大野原　やみにきらめく一道のひかり
君がてひは空に輝く三日月の　やがては圓く清くなるらむ

廣告

●森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

一稅關手續
一船舶陸揚荷物
一日本帆船
一倉入荷物
一委托販賣
一荷物保管
取扱
營口市街永世街鐵道驛前　精心洋行
右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候尚日々㊇の腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少不拘御用命仰付被成度願上候

資本金參拾萬圓　日清合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社　營口分局
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司出經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大清通運公司連接）東清鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙遠近貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白價路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

材木　荒物　販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

美味安價西洋料理　牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

和洋御料理　一力
舌代
弊店儀開業以來各位引の御立に預り日増隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

銘酒劍菱　新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向イ　池上出張店

汽船出入帆案內
南越丸　本日入港
湖洲丸　十日入港
客船　鷹取丸　千八百七十五噸　速力十二哩
十日正午出港門司直行
內地行載戻ノ荷物幸便有之候間至急御申込被下度候
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業
西北街　德重洋行

開業
日華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
月　日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司
廣告

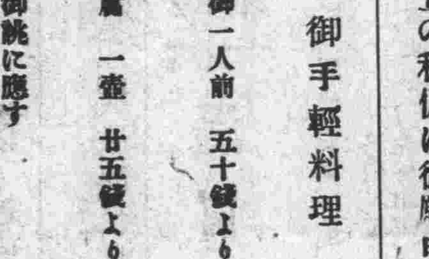
質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御用命被下度願上候
營口永世街三十六號
北斗[illegible]

古料理　滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

謹告
小生儀旅行中の處本月七日歸營仕候
永世街東洋醫院　山田長

高野孟矩法律事務所
大連市監部通二丁目五百廿五番地
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御遊びを願へて一圓以下に御座候間何卒倍舊の御引立の程偏に御願申上候
營口二本町　梅廼家　田村瀧太郎

御手輕料理
一釜飯御一人前　五十錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
右之外御誂に應す

營口元神廟街二〇九號
月　日　翁亭

會席料理　三日月
營口警務課前南に入る

和洋雜貨　盛進商行
新着
椅子　卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

御料理　雪月花ノ會席ト仕候
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一圓ノ御意ニ從ヒナンデモゲンシンビヨガイ
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや
まつのや藝妓　全　松吉　全　二〇か
御客樣方　義太夫　牛莊

新荷着
▲板材木▲木炭
▲牛石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永街街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

GERMANIA BRAUEREI, TRINGTAU

Light Beer after Pilsener Make.

Dark Beer after Munich Make.

in barrels of 25-50 litres . . . per litre $ .28
„ cases of 48 1-1 bottles . . . „ case $11.50
„ „ „ 80 1/2 „ . . . „ „ $13.50

JULIUS JASPERSEN
Sole Agent for Manchuria.

青島釀造獨逸ビール
一手販賣廣告
ペルシナー種ライトビール
ミヒ種黑ビール
二五リートル入ヨリ五〇リートル入マデ樽各種アリ
各一リートルニ付廿八錢
大瓶四ダース入一箱十一圓五十錢
小瓶八十本入一箱十三圓五十錢
滿洲特約一手販賣店
營口　德茂洋行
支配人ジュリヤス、ジャスパーン

各國高等雜貨
電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
營口永世街
三友洋行雜貨部

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

生徒募集
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し候に付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口　瀛華實學院
瀛華實學院招入學生
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

（營口永世街）
回天堂三木大藥房
存案　天　招牌
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶枝料
●肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●紫管樂應用貨物齊全
凡所備置各貨均皆實心擇選正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤耑此佈告

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

東鐵口西北街
裕和盛
電話八番
東清鐵道
遼河貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
内外煙草、葉巻
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
御並に小賣
彩票
每月　大連　鐵嶺　南洋　湖北　發賣
本店　長崎
支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

滿國營口一本町一五五號
主任　鹽川峯吉
（電話一三六番）
料木　棟子　木板
發賣
一
遼陽小西門内
塩川商會
鹽川商會
外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也
●建築

自造煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
（電話八十六番）

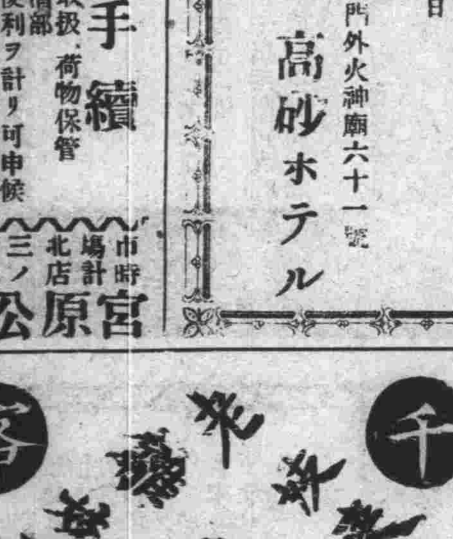
ペンキ塗請負
營口豐濟門街李俊宅前
京阪組
榎本康平

關内外蘆漢鉄道貨物
一運輸（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候）
一海關手續（但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱）
一鈔關手續（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館東京樓
店主　熊田兼次郎
（電話百七十八番）
即席和洋料理　東京樓支店
（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月　日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店　高砂ホテル

一、税關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場計時北店原三ノ階二樓階
宮原公司



西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）

各位
時下艷春花を見るの好時機と相成候處各位益々御淸康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
營口二本町
祇園閣旅館部
主人
（電話一四四番）
敬白

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一湯崗温泉
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口○大石橋○海城○湯崗温泉全停車場○遼陽○奉天

開行時刻

山海關着 六、〇〇 八、一〇 營口着 四、五五 十、五五
山海關發前八、一五 五、〇〇 北京發前 八、〇〇
塘沽同 着三、三四 后二、二〇 四、一〇 天津同 一一、〇九 六、三五
天津 發三、四四 五、五五 塘沽同后三、三一前一〇、四五
北京 着六、四五 山海關着 六、二〇 六、一

大石橋着同七、三〇
大石橋發前七、三五 后一〇、五五 大石橋發前八、〇五 后二、〇五
南關嶺后三、五七 前六、一七 奉天 九、〇七 四五 后二、〇七
大連着同七、三三 同一〇、三五 鐵嶺 九、五〇 同 一、三五
昌圖着

宮門抄

十二日

商部　鑾儀衛　廂黃旗値日無引見　軸　謝充値年旗大臣

恩　多淩　曾熙伺候　召見　崇壽續假十日

召見軍機　多淩　會典

商部遞封奏二件

論說

論政府宜速開外蒙金山以固邊圉

夫天不愛道。地不愛寶。所以裁成世界。輔相民生。使之有所取材。而無資用不周之慮。此地之大。覆幬持載。爲人生日用所不能外者也。惟天不愛道也。故四時行。百物生。傾覆栽培。生生不息。而後歲功以成。惟地不愛寶也。故寶藏興。貨財殖。亭毒發育。源源不竭。而後物產以阜。天地且猶如此。不愛其道與寶。人固錯愛之。靳惜之何也。蓋衣裳生筍。弗曳弗婁。而人猶以儉嗇譏之。車馬在御。弗馳弗驅。而人猶以慳吝誚之。一服飾之微。儀從之末。用之不以其道。尙招物議之紛乘。而遍爲指摘。況天生之。地成之。人力稍施。即收其明效。獲其大利。奈之何。棄貨於地而莫之惜。藏富於國而畏其難哉。今日之中國。貧弱極矣。大農仰屋。羅掘無術。左藏空虛。拮据異常。是遵何道。以致如此。然則藏富於國而患貧。棄貨於地而乏用。厥維不知提倡礦務。不諳開採之故。曩者中國開國之初。每惑風水之謬說。龍脈之妄談。有開礦者輒罪之。各處礦山。雖有佳苗率皆封閉禁錮。不令發掘。二百餘年。日貧日弱。職是之由。近時萬國開通。文明互進。中國有鑒於各國之以礦產富饒者。比比皆是。故今茲頒行新政。亦以此爲當務之急。京師既設商部。以振作之矣。外省均設專局。以調查之矣。然而中國之礦學。尙在幼稚時代。其大而佳者。非資外人之攘奪競爭。即開採之未能如法。甚或腐敗官吏。徒事張皇。遷延時日。虛縻餉項。無裨國家。抑或招商辦理。需索多端。藉充私橐。於國家之安危損益。漠不關心。於民生之消長盛衰。毫不加意。縱能集股開辦。至宜如何斟酌盡善之處。督飭無人。其益亦鮮。以故各省赴商部報開礦山者。正復不少。而實收其效。利國利民。迄今猶未之聞見也。即如近日理藩院。行查外蒙古。扎薩克圖。三音諾顏。兩旗礦山。爲向時封閉禁錮。日派二十餘卡兵丁。分段防守之者。現既知而查之。並令酌量設法開採矣。而僅令烏里雅蘇台就近籌辦。夫烏城素稱瘠區。財力薄弱。聞彼處金山綿亘周迴。不下數百里。且礦苗最佳。以如此之鉅工。如此之大利而令著名瘠苦之烏城。力任其難。無論力不能勝。即令籌措得宜。以蒙民之迷信最深。一旦有此創舉。勢必群倡爲風水龍脈之說。多方施其阻力。出死命以抵抗而阻撓之是非合國家之財力。簡派熟悉蒙古風俗人情之大員。往爲設法開導勸誘。許以分利之益。兼示以如不自辦。終必爲強鄰侵奪。土地貨財。均歸烏有之損。蒙民雖愚。爲其自謀或亦無不周備。其情勢已曉。利害已明。自無不樂從。民力皆足爲用。而集事不難矣。矧中國二十餘行省。礦產富饒隨地而有。晉省之煤鐵。甲於環球。德人久涎視之矣。滇省之五金。多於內地。法人思攫嘗之矣。又況西藏路礦之權。已爲英有。新疆路礦之利。現爲俄窺。烏城目前。俄已遞求設領事署。其居心窺伺。亟思染指。固不待智者而辨焉。他如川省多山嶺。而藏蓄必宏。江省號殷繁。而孕育必厚。均宜及早維持。俾國與民交享其利。且外蒙之金山。既云綿互數百里。礦苗又復甚佳。設有國力以助之。其利必厚。苟得其利。以之練兵隊。修鐵路。設電線。通商賈。種種利源。相因而至。既足以固外藩之邊圉。亦可杜強鄰之覬覦。於內治外防。兩得其益。並可以爲北門之鎖鑰。京師之屏蔽也。有當事之責者。其亦於此加之意乎。

東京電報

●日俄互議漁業權之問題　本日駐日俄國欽使巴君抵外務省面訪牧野署理外務大臣及珍田次官列坐開議談判數刻按此次會見即關於日俄平和條約所定漁業權之問題現更開始交涉磋商辦理云　（西五月九日到）

中外要聞

●中俄協約告成無期　中俄專約迄今尙無眉目者外間咸云俄人要索之事不肯退讓之故是以迄無端倪據本社員確報云俄人實有不願此約繇成之意故以事外問題交付中國以期不能告成也然俄人之居心實難揣測

●南昌教案英使之寬厚　南昌之案英公使並無要索不過請辦殺害金敎士之人以及撫郵金敎士數萬金而已現已將次判結中國甚感英公使之盛意聞日後薩使返國時清政府欲贈以頭等雙龍寶星以爲酬答

●寓舊金山華人近況　駐美梁星使電外部云電悉當即查明舊金山胡領事以及留學生等均無恙華人受難者不過千數所失資財甚巨美政府現已前往賑濟知念奉聞云云

●聘用客卿之議未決　聞五大臣欲聘請精琦氏將來同來中國爲政治顧問官一節聞政府當道等咸未曾決定此議並未贊成此舉然聘用客卿之意將來必有此着但聘用何國人現在未能判定故五大臣電請聘用精琦者迄今政府尙未答覆允准施行也

●達賴喇嘛回藏消息　中英所議之藏約現已定奪先是政府欲令達賴喇嘛即行返藏無庸過慮並將允其沿途自論飭地方官認眞保護決無他患即抵藏後自當由駐藏大臣隨時照料亦無外患云云達賴喇嘛得此消息始敢返藏

雜報

●房租累民　昨聞埠民相與語曰凡於埠內房間連年迭漲較前數倍尙無底止今春埠內貧民多有賃房不得食宿無歸以致兄弟妻子離散零落流寓者不堪枚舉其在商舖生意蕭索而房租倍昂多致不振聞有協豐德商舖領資本銀萬兩照常可稱殷實然向之房租僅壹萬緡詎該房主今年漲價貳萬五仟緡須一季完納外索銀五仟兩押租若然再加購置鋪個雜項一切不待開張即得歇業矣所以日人經商來埠多有不得餘利回國者蓋被房租昂貴所累之故雖然尙有求租房間不得者奈何云云

●竊奔尋夫　埠民有蔣姓翁媼攜有一子於前七年春季娶東村卜間房程姓之女尋值拳匪之變私自逃逭一出未歸嗣後聞在鐵嶺旋向開原轉往長春又於吉林幾若大海飄萍茫無定跡該女請其翁姑求人往尋奈翁年老因循不果女暗向人常自恨曰使我易髻而冠雖尋夫千里所不辭也奈翁姑之不如我願何昨聞埠民傳曰該女於旬前某日晚間私出未歸次日遍處諮詢毫無蹤影或疑其扮裝尋夫去耶若然抑一大難事耳

●天網難逃　客夏海市產魚之際聞有南城匪棍夏姓者會同□城匪棍戰老希幷萬姓徐姓及不知姓名之甲乙等糾合土匪一百六十餘名詐有日官執照沿海捐船共得洋蚨壹萬六仟餘元旋經犯事夏戰萬徐等爲首六人俱被捉獲當於田庄台北將夏梟首戰等五犯減罪擬罰苦力五年囚待罪限今春經大令飭該五犯白晝出牢作工夜間釘鐐寄押倉房較之因牢逍散昨由海城來人云該犯等竟於旬前某夜偷將桎梏𢬿壞齊謀越逃被監者所覺禀於大令勘驗確實次日將該犯等同時斬決論者謂其罪惡貫盈自取誅滅云

●賣兒騙術　有山東貧民男婦八人行乞於市每至人叢則大呼賣兒多有動其善念幫助銀洋者昨午後在福建公所門首狂叫呼賣忽來一粵人欲買小兒問兒幾齡價洋　寡答曰四歲價洋四十元雖少一文不賣也一人言明身價粵人當時將洋票四十元付清帶兒欲走老婦三人放聲大哭幾不欲生經來往行人鮮勸將小兒領回又將洋票交與原人各散不知東省窮民多以賣兒爲詐騙之術設遇惻隱之人不索原値伊等往往得此便宜而去蓋本埠每歲有之無足怪云

叢談

●張獻忠　張獻忠性嗜殺一日不殺人即不樂有時無人可殺命牽一繩橫過五尺令軍士從繩下行過其過高爲繩所阻不能過者殺之其過矮不及繩者亦殺之一日有病禱於天曰若能全愈即燃天燭一對以答神恩後病愈即將婦女小足砍斷結成天燭一對時四川女子無不纏足附近數十里女子幾爲殺盡其結燭之法下大而上小愈上愈小結至頂無更小者四處搜尋不得軍士復命於獻忠適有一愛妾在側妾恃寵謂獻忠曰如妾足之小可以合用否獻忠視之曰亦合用即命軍士將去砍之妾悔哀乞涕淚呼救亦不恤焉燭成燃燒十餘日臭聞數十里可謂殘忍之極矣而其殺戮如是之慘顧無人反抗之者由於數千年專制政治養成人民依賴之根性獨立精神磨滅已盡又無教育不知人生之性質國民之資格當結合團體以保其身產生命爲人人共有之天職是以慘殺之令一下如犬羊然帖耳延頸以待宰割哀哉

●李自成　李自成與張獻忠皆明末流寇之魁桀一人絕無才畧累爲明將所敗而勢力滔大蹂躪全國者由於其時人民既困於練餉征餉又連年饑饉而明制於各地義倉凡遇饑饉須由地方官具稟督撫督撫入奏候部批准方得開倉賑濟官吏既憚其煩日以緩不濟急故匿而不報坐視饑莩塡溝壑而自成所陷州縣即開倉任饑民取食故日來歸者十餘萬轉令王師勳不勝勳而大事去矣

●調劑凉暖　英京倫敦有暖氣公司當隆冬時天氣嚴寒而以管收暖氣潛地中使之四達故雖雨雪飄飄而居之者不寒焉若遇炎暑則又轉盛以凉氣使之適合乎人身富十九世紀時歐洲僅數處有之至二十世紀始盛行以此見人事大造於天地間也

NEWCHWANG, THURSDAY, MAY 10, 1906.

The roads had scarcely got dry when it began to rain again steadily yesterday morning.

Mr. C. H. Oliver who has been lately appointed to the Commissionership of Customs at Soochow upon his arrival at Shanghai back from home leave, has been ordered to Manchuria in order to make arrangements for the establishment of custom-houses at the points to be opened to trade. He came here *via* Peking last Tuesday evening and has been staying with Mr. Clarke.

Mr. Oliver, and Mr. and Mrs. Clarke, and Mr. Ebara, the new Acting Deputy Commissioner, were entertained at a tiffin by Lt.-Col. and Mrs. Yokura yesterday.

The Newchwang Club has added to its many ornaments a 15 cent. shell mounted erect on a rest of blackwood which has a silver shield bearing the following inscription: "A souvenir of the siege of Port Arthur presented to the members of the Newchwang Club by Lt.-Col. Yokura 1905."

Outside the shell case are fixed two thermometers side by side—the Fahrenheit and the Centigrade. It is crowned with a silver top which has a barometer set in the centre in the embrace of a pair of dragons.

We understand that the work was done by Tuck Chang & Co., Shanghai, and has just arrived. It reflects credit to the skill of the artisan as much as to the taste of the resourceful designer.

Dr. I. Nitobe and Mr. Yokoyama left the port last evening for Tairen.

In reply to a question put to him while here, the writer of the "Bushido" admitted with diffidence the existence at present of as many translations as in 8 different languages of the English original of his popular work.

The last rendering that was brought before his notice for a consent to its proposed publication was given last summer by a Russian officer by the name of Lt. Willman during his detention in Kyoto as a prisoner of war.

The talented officer who was by the way a volunteer once some years ago while in Russia had come across a copy of the "Bushido." However the contents struck him then as idle evaporations of a Japanese idealist seeking the unreal, and so the book was carelessly thrown aside.

While confined in Kyoto, fortune cast another copy of it in his path a second time. It came as a welcome relief to the sequestered, monotonous life, and was perused with a keen interest made all the more so, because of the cruel changes in circumstances and also of the attestations of his late personal experiences. The vague memory refreshed with an effort carried him back to the time of his first acquaintance with the pamphlet and set him to serious thinking. He had witnessed with his own eyes many a beautiful sentiment pictured in it, which he had made light of as too good for earthly practice, taking shape in actual deeds on the battlefield and elsewhere. He could believe now that the "Bushido" voiced practical philosophy, not the phantasies of a visionary mind as he had thought, and proceeded to render it into Russian. When it was done, the manuscript with the prefaces written by Admiral Wiiren and Gen. Smirnoff was submitted to Dr. Nitobe for approval which was readily offered.

Dr. Nitobe was communicated to some months ago by a professor in a university in Poland, informing him of the suppression by the authorities of the Polish translation of the book.

We quote from the issue of the "Yorozu" on April, 18th last the following chirographic riddle the happy or rather gloomy solution of which is credited to a Chinese student in Japan.

(The little Japan has got the better of the dreaded Colossus of the North, while China with all her vast resources is treated no better than a minor by the Others.)

"What makes such a big difference between the Middle Kingdom (中國) and Eastern Empire (東國)?"

"Because 中國 misses 二八 (two men) whom the other (東國) possesses."

(Add 二八 to 中 and the combination makes up the character 東).

"The two men wanted are the heroe and the patriot."

There have been no changes in the exchange rates.

輕便鐵道附屬鐵工　土木建築用鐵材料　其外鑄物諸般
定商門會街東
喜工場

輕便入院　永世街警務課ノ前

（南永世街甲第一号現時滿洲捷所在地建物）賣却入札云々は事實の間違ひに付き取消す

豫報

昨氣
日昨日の氣温　最高温度五十五度〇　最低温度四十七度九
昨年と比　低十一度六　低二度五

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番） 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 海岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 正北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川柳三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 高砂亭 店主 片山小みつ

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 營口新市街百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館料理 金城ホテル カーキ街六十六號 第二金城ホテル 店主 齋藤富次郎

旅館料理 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理並ニ温泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信大盛

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話二五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號） 奉天小西關大街北側

會席御料理 高等御旅館 天神樓 温泉付大勉强キレーデァイシヒ 奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井ユノ

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號） 主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 牛肉すき焼 日章館 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

旅館料理店 旭館本店 奉天大西關 旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉（電話 号）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團槌

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽倶樂部 遼陽兵站司令部指定ホテル 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田満

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

注意

英國製二連銃中古附屬一切賣却したし御望みの御方左記の所へ御一報被下度
日本郵便局私書函四號 WN生

一和洋御料理 遼東館

遼陽城內東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀と言ことするは弊館の特色に御座候

御料理旅館 扶桑館

奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号
館主 堀田ハル 電話 号

御料理本店 奉天小西關新來當街々 金城館（電話十九）
御旅館 奉天小西門街大什字街 金城ホテル（電話二〇）
御料理支店 營口永世街 金城館（電話八三）
御旅館支店 營口永世街 金城ホテル
御料理支店 大連市吉野町 金城館
御旅館支店 大連市吉野町 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる様一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとこゝに一言申添置候

和洋會席 御料理

弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

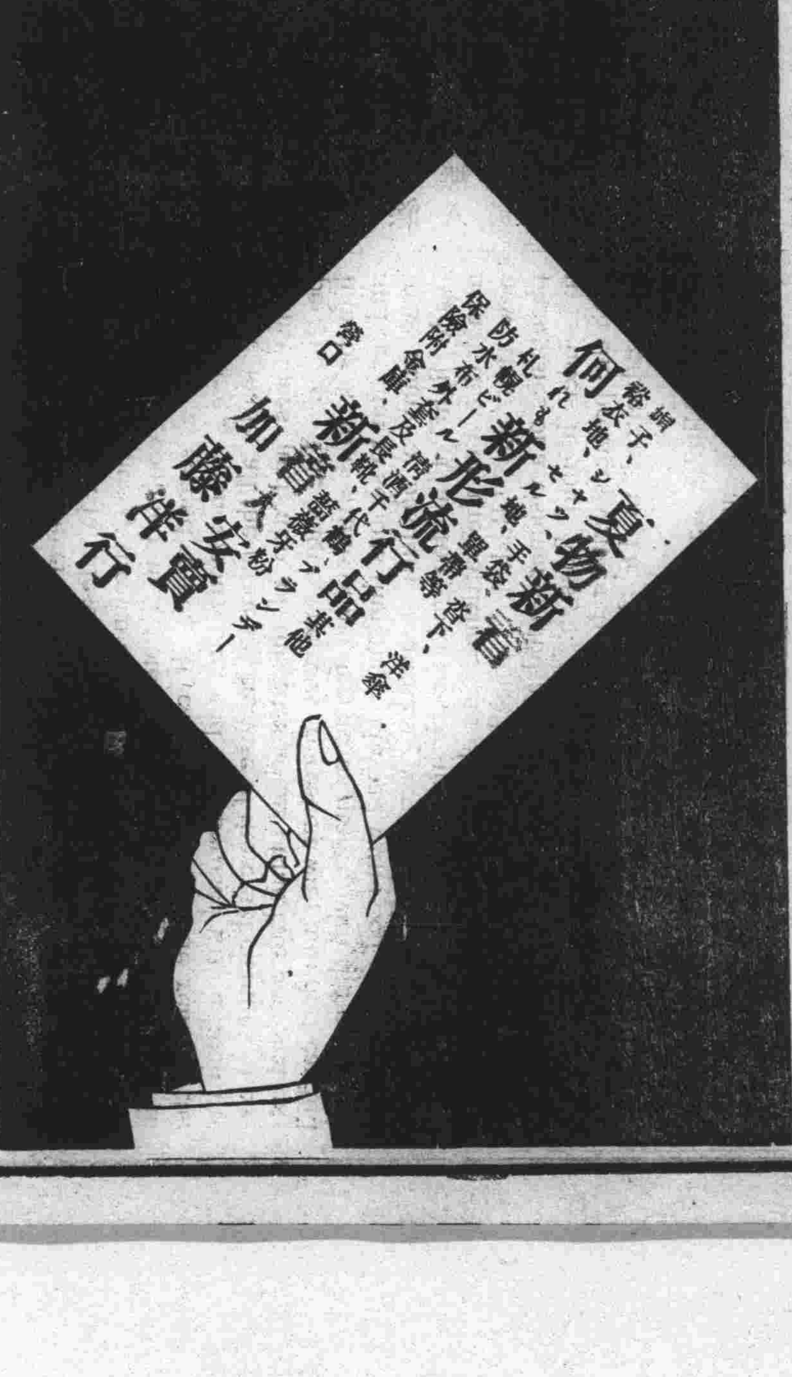
業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷並に製本

弊所特色
- ●印刷鮮明
- ●價格低廉
- ●叮嚀專一
- ●期日正確

營口永世街入口東二本町角
川本活版所



新荷着

高等麥酒 スペシャルライト

スペシャルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり

釀造元 大日本麥酒株式會社

滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

第二回新荷着

金舛洋行
盛進商行

爲替相場（五月九日）

日本向 百〇一圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 一百〇二圓八十七錢五厘（百弗に付）
芝罘向 一百〇三圓五十錢

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一塵紙 一〆 一圓七十錢
一仝 狀袋 二十枚綴 三錢二厘以上四錢
百枚 十三錢以上十八錢

室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓
一緞燈 五圓五十錢以上十四圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一薄縁 十枚 八圓
一麻緞通 一疊敷 三圓
一綿緞通 仝 三圓五十錢
一由加多緞 仝 一圓七十錢
一白毛布 二枚綴 八圓以上十五圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
$4.80 per 6 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙

廣告
二十一字詰一行一回 銀二十仙